

上之坊だより



令和5年1月19日
第96号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168

「どんなに冬の寒さが厳しくとも、日ざしの中に暖かさを感じる時がある。花はそれを感じて春を予感し、開花の準備を始める」とお書きになられています。

いま、コロナ第八波がやってきて、医療が逼迫し、入院も困難になりつつあります。コロナで亡くなるお年寄りが増えており、流行がどこまで広がり、ピークがいつなのかは誰も分かりません。

社会情勢もずいぶん厳しくなり、生活が困窮し、以前と

は違う人生を歩まれている方も多いのではと思います。

その一方で、だんだんコロナ禍に慣れて、コロナと共生をして、コロナに罹患するのは当たり前前の時代がやって来るのかもしれない。

私達にはどのような未来があるのでしょうか。今の不孝がつらく厳しくとも、悪い日ばかりは続きません。

訪れる春に咲く花を美しいと観賞できるのは、冬の試練を乗り越えて、何であつても生きていればこそなのです。

こう ぼう だい し せい ご しょう

弘法大師聖語抄

とうてん だんけい な すなわち
冬天に暖景 無くんば即ち

ばいばく なに はな しょう
梅麦 何をもつてか 華を生ぜん

四国参拜のご案内

少しづつお参りの方がふえてまいりました。今回は六十五番三角寺から八十八番大窪寺まで参ります。なお、今回のお遍路では普通寺の宿坊に泊まりますが、旅行割引のキャンペーンに加入されておりません。割高になりますがお勘弁願います。



日 時 三月八日(水)
十日(金)二泊三日

宿泊地
一日目 国民休暇村(白峰)
二日目 普通寺 遍路会館

料 金 四万三千元(暫定)
なお、この先の四国巡拝についてはコロナの影響を考えながら、来春の実施を考えてまいりたいと思います。高野山については五月の早い時期の実施を検討中です。

寺内の整備にご協力いただける方募集

一月の総代・世話方で正式決定されますが、四月十六日(日)朝九時半から二時間ほど、ユギ塔周辺の木の伐採や草刈を予定しております。道具を持参の上、作業にご参加をお願いいたします。協力いただける方は電話にてお知らせください。

新総代就任
十一月の総代会で春日町の北村嘉見氏が総代に就任されました。どうぞよろしくお願いします。

上之坊 総代会・世話方会の開催

一月二十二日(日)午後二時から総代会を、同日午後三時半から世話方会を開催いたします。

総代の皆様には別便でご案内をお届けいたします。なお世話方様へは総代様を通じてご案内状をお届けします。

お寺の行事予定

- 二月 四日 厄除星祭り
- 二月 二十六日 玄冬会
- 三月 八日 四国巡拝
- 三月 十日(香川三日)
- 三月 十二日 得度式
- 三月 十九日 彼岸勤め
- 三月 二十二日(四日間)
- 三月 二十六日 真明寺晋山式
- 五月 八日 高野山参拝
- 五月 九日(二日)
- 五月 十日 真明寺例祭
- 七月 八日 施餓鬼法会
- 七月 十三日 お盆勤め(旧暦)
- 七月 十五日(三日間)
- 八月 一日 お盆勤め(新暦)
- 八月 十五日(十五日間)
- 九月 十七日 彼岸勤め
- 九月 二三日(七日間)
- 十一月十一日 土砂加持

※毎月第四土曜日護摩祈願
(四月のみ第五土曜日)

得度式開催のお知らせ

かねてより計画していた得度式を、来る三月十二日(日曜日)に行います。この得度式とは、出家をして(僧侶になり)仏さまの弟子となることで、戸籍を変更する必要はないのですが、僧名をつけて如法衣(によほうえ 正式な袈裟のこと)を着けることが許されます。普段の生活が変わるわけではありませんが、人生の新しいステージに場所が移ると考える事ができるのです。

上之坊では過去にも幾度か、この得度式を行ってききましたが、初めて公募にて参加者を募ります。

ご希望の方は、得度式費用として四万円をご用意ください。また、このほかに衣が必要で黒衣・如法衣・白衣・足袋などが必要な方はお申し込みの際にお知らせください。この得度式のためにお経の練習会などが二度ほどありますが、強制ではありません。お申し込みの締め切りは一月二十八日としますが、まずは電話にてお申込み前のご希望をお知らせください。

土砂加持お供え名簿

玄冬会(げんとうえ)御案内

二月二十六日(日曜)午後一時から十二月に続き、玄冬会(げんとうえ)を開催します。

内容については、お気楽に集まっていたいただき、お話をしたり近所を散策したりします。戒名や仏教の話も少しありますが、今回は厄除参道を上がつてみたいと思っています。参加ご希望のかたは電話にてお申込みを願います。

真明寺住職清純 退山奉告法会執行

去る十二月十一日午前十時から真明寺本堂に於きまして真明寺 住職 清純の退山奉告法会が行なわれました。年齢も九十二歳で、昨年より歩行が困難となり、住職の勤めを果たせなくなっていました。

真明寺役員などで昨年春すぎより協議をし、在任五十年を区切りとして退山を行うように進めてまいりました。

コロナ禍ではありましたが、清純も高野山まで登り、本山にて住職在任五十年の褒賞状を十二月八日付けでいただくことができました。

一連の写真などは次号の上之坊だよりでご報告いたしますが、改めて、今までのご厚情とご支援に対し深く感謝いたします。

真明寺住職 退山 ご厚志 名簿

厄除星祭り 二月四日 朝十時と昼一時半の二回開催

人に良い年と悪い年があるのは、その人が持って生まれた星とめぐり来る星との位置と関係によって起こると言われています。

星祭りとは年の節目である節分の頃に、その年の当たりの星を奉って、悪い位置の星の人には悪事や災難を免れるように、また良い位置の星の人には一層良くなるようにと祈る行事で、真言宗では千三百年を越える昔から続いている行事です。

今年も二月四日(土)午前十時からと午後一時半からの二回に分けて、護摩(ごま)をたき、節分の厄除けの祈願をいたします。しかし今年もコロナ禍によって内容が例年とは変更になっております。出来るだけ大勢の皆様にお越しいただきたいのですが、健康に十分ご留意いただきお参りください。また、福引できる「お供え」について昨年と同様分配が困難なため、お控えいただきますようお願いいたします。またお参りの時には必ずマスクをご着用ください。

なお、「おふだ」をご希望の方は前日までにお申し込みください。お一人につき三百円です。また、大きなおふだをご希望の方には七百円の金札と千五百円の小木札、三千円の大木札の三種類があります。詳しくは別紙をご覧ください。

今年の厄年は、数え年で、男性は平成十一年生まれの二十五歳、昭和五十七年生まれ、四十二歳、昭和三十八年生まれ、六十一歳と、女性は平成十七年生まれ、十九歳、平成三年生まれ、三十三歳、昭和三十八年生まれ、六十一歳です。男性の四十二歳と女性の三十三歳を大厄と言います。その前後の年を前厄後厄と言います。厄年の方は毎月第四土曜日に護摩祈願がありますので、今回の星祭りと併せてご利用ください。

年忌表(令和五年)

一 周忌	令和 四年
三 回忌	令和 三年
七 回忌	平成二九年
十三回忌	平成二三年
十七回忌	平成十九年
二五回忌	平成十一年
三三回忌	平成 三年
五十回忌	昭和四九年

本堂正面に張り出しをしてあります。

御寄付いただきました

一、金壹拾万円

幕山台 枝広弓子 様

一、金壹拾万円

石 樋 関戸孝充 様
ありがとうございました

納骨堂のご利用

上之坊本堂横、多宝塔との間に納骨堂ができて四年が経過しました。

納骨堂のご利用は、お堂内で個別のお預かり期間が七回忌までは十万円・十七回忌まで十五万円・三十三回忌まで二十万円・五十回忌で二十五万円となっております。その後は合祀墓で永代のお預かりをいたします。

毎年の維持費などは一切不要で、合祀墓の使用料も含まれての奉納料です。(なお、お名前などを刻んだプレートをご希望の方は別に五万円を奉納願います) 詳しくはご相談をお願いします。

なお、昨年八月に合祀墓が完成し、二年後に供用を始める事になりました。